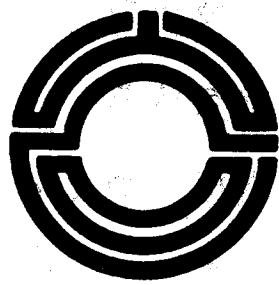


岩槻市統計書

平成 7 年版



岩 槻 市

岩槻市民憲章

制定 昭和53年5月3日

太田道灌築城以来、城下町として栄えてきたこの地岩槻市は、古い歴史と美しい自然に恵まれ、今や人形のまち、平和な文化住宅都市として、大きく発展しようとしています。

この郷土に住むわたしたちは、市民であることの自覚と誇りをもち、さらに、美しく調和のある住みよい岩槻にするため、この市民憲章を定めます。

わたしたちは、

1 郷土の歴史と風土をはぐくみ

住みよい岩槻をつくりましょう

1 自然と緑を愛し

美しい岩槻をつくりましょう

1 仕事に誇りと信念を持ち

楽しい岩槻をつくりましょう

1 自己啓発と教養を高め

すぐれた岩槻をつくりましょう

1 道徳と規則を守り

明るい岩槻をつくりましょう

刊行にあたって



ここに平成7年版「岩槻市統計書」を刊行いたします。

本書は、“豊かな自然と文化をはぐくむふれあいのまち”の実現をめざす岩槻市の人口・産業・経済・文化等、各分野にわたり、基本的な統計資料を総合的に収録し、市勢の現状ならびに、その推移・発展を明らかにしようとするものであります。

本書が各種行政施策等の基礎資料として広くご活用いただければ幸いです。

なお、編集にあたっては、できる限り最新の資料を集録し、内容の充実につとめましたが、不備、不完全な点があると思われまますので、今後とも各方面のご指導を得まして内容の充実につとめたいと思います。

本書の刊行にあたりまして、貴重な資料を提供していただきました関係各機関に対しましてお礼申し上げますとともに、今後さらにご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成7年3月

岩槻市長 齋藤 伝吉

基本構想

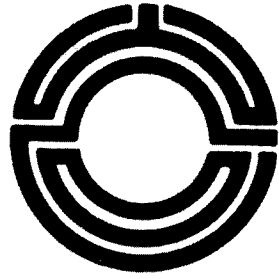
————— 西暦 2,000年（平成12年）の岩槻市の姿 —————

岩槻市は、市民のすべてが健康で文化的な生活を営むことのできるまちづくりであり、それはまた、市民一人ひとりが育てあげていくまちである。

西暦 2,000年（平成12年）をめざした、岩槻市のまちづくりの目標を「豊かな自然と文化をはぐくむふれあいのまち」と定め、すべての市民の参加によってこれを実現していく。

- 1 台地部環状緑地帯を軸とした深い緑蔭に浮かぶ
近代的住宅都市
- 2 広く親しまれる社寺仏閣・史跡と市民の創造的
な活動が展開される文化のまち
- 3 郷土に対する愛着と誇りを持って、市民が助け
合い、強い連帯のもとに新しい生活の創造とコミュニ
ティ活動が展開されるまち
- 4 豊かな活力を育て、さらに大きく飛躍するまち

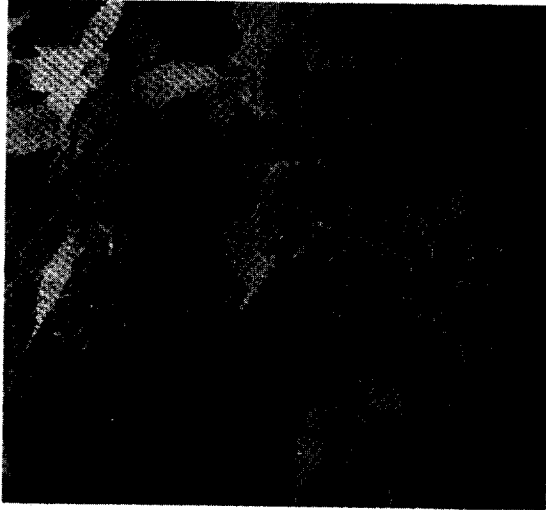
市のシンボル



市章 岩槻の岩にて中央のツキ（満月）を囲む。

制定 昭和30年10月1日

自然を愛する緑と花の美しい都市づくりを進めるため、本市の象徴として「市の花」「市の木」が昭和52年4月1日に制定されました。



市の花

やまぶき……野山に自生する落葉低木で結実する。太田道灌ゆかりの八重咲きは栽培品種で結実しない。



市の木

つき……けや木の古名、けや木はすでに県木となっているので本市では万葉時代の雅名つきを推す。